土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　平成30年度 二級河川 瀬野川水系 三谷川 通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	B 1-No.2	**調査位置**	広島県安芸郡熊野町出来庭地内（椎川支川2渓流）			**北緯**	34° 20′ 36.0470″
発注機関	広島県西部建設事務所			**調査期間**	2020年 9月 4日 ～ 2020年 9月 10日	**東経**	132° 34′ 24.2759″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 289.81m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 16°
総削孔長	10.00m					**使用機種**	

試錐機	東邦地下工機 D1-C		
エンジン	ヤンマー NFD 12	**ポンプ**	東邦地下工機 BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事
	289.41	0.40		シルト混じり砂		褐			新生代第四紀	表土に相当する。砂分は細中砂からなる。やや均質な層である。
1 2 3	285.91	3.90		玉石混じり砂礫		灰褐～赤褐	rd3			玉石分はコア長7～23cmで採取される。最大のものは連続長で45cmに達す弓形で採取された。その他，中礫～細礫分も少なくない。 マトリクスは粘土質の細中砂からなる。細粒分の混入により，マトリクス優勢部でもコアは円形形状を維持する。 貫入試料の含水は低い。 1mの貫入試料は，クサリ礫を打撃している可能性が高い。基盤岩との境界は，やや明瞭さに欠く。
4 5 6	282.81	7.00		花崗岩強風化土		褐			中生代白亜紀	花崗岩の強風化土（砂質土）。 未固結砂状を呈す。コアは土棒状をなすが，ごく軽い指圧で完全に崩れる。 岩組織はかなり明瞭である。割れ目は痕跡を含めて完全に消失する。 貫入試料の含水は低く，少し湿った程度である。 6.55m以深，褐色の色調が少し薄くなり，見掛けは下位のⅢ級岩盤に似る。ただし，コアの固結度・硬さに明確な差は認められない。 Ⅲ級。
7 8	281.56	8.25		強風化花崗岩		黄褐				花崗岩の強風化部（軟岩I）。 風化色はわずかに薄くなる。コアの硬さに明確な差は認めないが，ほぐした際の土粒子が少し粗粒になる。Ⅲ級。
9 10 11	279.81	10.00		風化花崗岩		淡黄褐				花崗岩の風化部（軟岩I）。 コア長10～15cmの短柱状コアからなる。岩芯風化しており，岩片は少し軟らかい。割れ目沿いはやや強くマサ状風化する。 GL-9.0～9.2m間，風化残り状に岩片が硬い。GL-9.35～9.5m間，局所的にマサ状風化する（Ⅲ級）。割れ目に沿った幅広い風化箇所とみられる。CL級。

孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図 (0 10 20 30 40 50)	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
		63	1.25	13	24	13	50/40	240							
		13	1.49	3	4	6	13/300								
		21	2.15	6	7	8	21/300								
		15	3.45	4	5	6	15/300								
		21	4.15	5	8	8	21/300								
		24	5.45	6	8	10	24/300								
		68	6.45	17	26	7	50/220	220							
		65	7.37	20	21	9	50/230	230							
		125	8.23	29	21	50/120		120							
		750	9.40	50/20		50/20		20							9/9
			9.52												
			10.00												
			10.02												